

第 49 期

事業報告

(2017年度)

自 平成29年 4 月 1 日
至 平成30年 3 月31日



公益財団法人
内藤記念科学振興財団

〔Ⅰ〕第49期（平成29年度）事業概要

内藤記念科学振興財団は、昭和44年4月7日付け、委大第4の1号をもって文部大臣より設立の許可を受けて、定款に定められた諸事業を開始した。平成29年4月1日から平成30年3月31日に至る第49期（平成29年度）の事業活動として、定款第3条に掲げる、「人類の疾病の予防と治療に関する自然科学」の研究を奨励し、もって学術の振興と人類の福祉に寄与することを目的として、定款第4条に基づき下記の諸事業を行った。

1. 第49期（平成29年度）の事業について

平成29年度は、以下の事業を実施した。

（1）公募事業

① 科学振興賞（褒賞）

科学振興賞は、当財団が定めた日本遺伝学会ほか計32の学会（長）、ならびに当財団の理事・監事・評議員に候補者の推薦を依頼し、18件の候補者推薦を受け付け、選考委員会で審査した後、理事会において受賞1件を決定した。

② 科学奨励金・研究助成

科学奨励金・研究助成は、398件の申請を受け付け、85件を採択した。

③ 科学奨励金・若手ステップアップ研究助成

科学奨励金・若手ステップアップ研究助成は、8件の申請を受け付け、3件を採択した。
平成27年度および28年度からの継続分それぞれ3件を合わせ、合計9件を助成した。

④ 女性研究者研究助成金

女性研究者研究助成金は、出産や育児によって研究を中断した女性研究者の研究職場への復帰と研究業績向上の支援を目的として設立された。平成29年度は96件の申請を受け付け、20件を採択した。3年目を迎える平成27年採択の19件については、報告書の提出を確認の上継続を決定した。平成28年度からの継続分20件を合わせ、合計59件を助成した。

⑤ 次世代育成支援研究助成金

平成28年度より、次世代の基礎研究者育成を支援するため、新たに次世代育成支援研究助成金を創設した。平成29年度は98件の申請を受け付け、10件を採択した。平成28年度からの継続分10件を合わせ、合計20件を助成した。

⑥ 海外研究留学助成金

海外研究留学助成金は、108件の申請を受け付け、10件を採択した。

⑦ 海外学者招聘助成金

海外学者招聘助成金は、20件の申請を受け付け、20件全件を採択した。

以上、②～⑦までの6事業については、全国の国立・公立・私立大学など700余の自然科学系研究機関の長、ならびに当財団の理事・監事・評議員に候補者の推薦を依頼した。なお、⑦の海外学者招聘助成金については、この他に当財団が定めた32学会（長）にも推薦を依頼した。受領者の採択は、選考委員会での審査・選考を経た後、理事会で決定されたものである。

⑧ 講演助成金

当財団が定めた32の学会（長）、並びに当財団の理事・監事・評議員に候補者の推薦を依頼し、国際会議の開催時期に応じて、四半期毎に年4回申請を受理した結果、23件を受け付け、選考分担理事4名および選考委員長で構成される審査会で審議の上、常務理事が決裁し、19件を採択した。

⑨ 特定研究助成金

平成29年6月に第43回内藤コンファレンス『非コードRNA：生物学、化学、そして疾患』、同年10月に第44回内藤コンファレンス『意思決定の脳科学—動機、予測と学習』を開催し、それぞれの組織委員会においてポスター発表者の中から10件を選出し、各内藤コンファレンスとも、10人に500万円、総額1,000万円を助成した。加えて平成30年度に開催される第45回内藤コンファレンス『がん免疫療法の免疫分子基盤—一次世代のがん免疫療法をめざして』の組織委員5人に900万円、第46回内藤コンファレンス『生物進化の仕組みと多様性』の組織委員6人に1,050万円、合計11人に総額1,950万円を助成した。

公募助成金の応募件数と採択件数、平成29年度支払った助成金額は次のとおりである。

助成金の実績

科 目	申請数	採択件数	採択率	予 算	贈呈額
科学振興賞（含金メダル）	18 ^件	1 ^件	6%	10,600,000 ^円	10,669,168 ^円
科学奨励金・研究助成	398	85	21	255,000,000	255,000,000
科学奨励金・若手ステップアップ研究助成	8	3	28	27,000,000	10,500,000
（平成28年度からの継続分）	3	3	100		11,600,000
（平成27年度からの継続分）	3	3	100		9,100,000
女性研究者研究助成金	96	20	21	120,000,000	40,000,000
（平成28年度からの継続分）	20	20	100		40,000,000
（平成27年度からの継続分）	19	19	100		38,000,000
次世代育成支援研究助成金	98	10	10	40,000,000	20,000,000
（平成28年度からの継続分）	10	10	100		20,000,000
海外研究留学助成金	108	10	9	45,000,000	45,000,000
海外学者招聘助成金	20	20	100	10,000,000	11,600,000
講演助成金	23	19	83	9,000,000	9,500,000
特定研究助成金	144	31	22	29,500,000	29,500,000
合 計	968	254	26	546,100,000	550,469,168

以上、公募9事業において、申請968件に対して254件を採択し、総額550,469,168円を助成した。なお、上記助成額に加えて、科学奨励金・若手ステップアップ研究助成は2,510万円、女性研究者研究助成金は1億2,000万円、次世代育成支援研究助成金は6,000万円の次年度以降の支払いが、すでに予定されている。

（2）助成事業以外の事業

① 講演事業（定款第4条第1項第7号）

a. 第43回内藤コンファレンスの開催結果

平成29年6月27日（火）午後から6月30日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロにおいて、東京大学大学院理学系研究科 塩見美喜子教授を組織委員長として、第43回内藤コンファレンス『非コードRNA：生物学、化学、そして疾患』を開催した。平成29年度の費用総額は2,827万円であった。

b. 第44回内藤コンファレンスの開催結果

平成29年10月3日（火）午後から10月6日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロにおいて、沖縄科学技術大学院大学 銅谷賢治教授を組織委

員長として、第44回内藤コンファレンス『意思決定の脳科学—動機、予測と学習』を開催した。平成29年度の費用総額は2,866万円であった。

c. 第45回内藤コンファレンスの開催準備

平成30年6月26日（火）午後から6月29日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレゼガトーキングダム サッポロにおいて、東京大学大学院医学系研究科 松島綱治教授を組織委員長として、第45回内藤コンファレンス『がん免疫療法の免疫分子基盤一次世代のがん免疫療法をめざして』を開催するため、組織委員会を編成しプログラムをまとめた。開催準備費用として、平成29年度は65万円を支出した。

d. 第46回内藤コンファレンスの開催準備

平成30年10月2日（火）午後から10月5日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレゼガトーキングダム サッポロにおいて、総合研究大学院大学学長 長谷川眞理子博士を組織委員長として、第46回内藤コンファレンス『生物進化の仕組みと多様性』を開催するため、組織委員会を編成しプログラムをまとめた。開催準備費用として、平成29年度は90万円を支出した。

e. 平成31年度以降の内藤コンファレンス開催準備

平成31年度以降に開催を計画する内藤コンファレンスの開催準備を開始した。その開催準備費として、54万円を支出した。

② 内藤記念くすり博物館での企画展示

理事会での承認を得て、内藤記念くすり博物館での資料収集・展示事業として企画展『進化するくすり』を開催し、開催費用として410万円を支出した。

③ 広報誌「内藤財団時報」の発行

本誌発行の目的は、当財団の設立趣旨と研究助成事業等の活動内容を公表し、大学・研究機関等およびご支援を受けた寄附者などの多くの関係者に、当財団への理解を促すとともに、定期的に活動内容のレビューを行うことにより、多方面からの継続的な支援を願うことにある。

第100号（平成29年9月7日）および第101号（平成30年3月20日）を発行し、寄附者、全国の研究機関、当財団の役員等関係者、助成金受領者、報道関係、他財団等に配布した。

*『内藤財団時報』第100号……………B5判106頁、2,100部、113万円

*『内藤財団時報』第101号……………B5判116頁、2,200部、115万円

合計228万円を支出した。

2. 事業報告附属明細書

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものがない。